

令和 5 年度

学校関係者評価報告資料

2月最終報告

＜教育目標＞

- よく学び、深く考える生徒
- 思いやりと規範意識のある生徒
- すすんで体を鍛える生徒
- 社会に貢献する生徒

＜目指す学校像＞

- 《目指す教師像》 生徒のやる気に火を付けられる教師
- 《目指す子供像》 主体的に考え、行動できる生徒

令和6年2月17日（土）
江戸川立篠崎中学校

令和5年度

学校関係者評価報告資料

(令和6年2月 最終報告)

もくじ

1	学力の向上	P 1
	（1）基礎・基本の定着	
	（2）学習指導要領に対応した教員の指導力向上	
2	体力の向上	P 3
	（3）豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実	
3	子どもたちの健全育成	P5
	（4）自己と他者を大切にし、多様性を認め合える人権尊重意識の涵養	
	（5）生徒理解に基づいた支援の充実	
	（6）不登校支援の充実	
4	共生社会の実現に向けた教育の推進	P10
	（7）共生社会に向けた特別支援教育の推進	
5	地域に開かれた学校の実現	P13
	（8）地域コミュニティの拠点としての取組の充実	
	（9）学校情報の積極的な配信	
	（10）学校関係者評価の活用・充実	
6	その他	P14
	（11）教員の働き方改革	
	（12）効率的な学校事務の運用	
	（13）食育の推進	
	（14）学校データの管理	
資料		P17
	（生徒アンケート、保護者アンケート、教職員アンケート）集計結果	
	※自由意見に対する回答含む	

中期目標 1	学力の向上
基本方針	(1) 基礎・基本の定着

数値目標 国学力調査数学・英語の平均正答率が、都の平均以上

具体的方策① 学習サブリ講座（質問教室）の定期的な実施

資料 1 学習サブリ講座（質問教室）の実施状況

	第一学年	第二学年	第三学年
期末	各教科 1 回ずつ (数のみ 4 回)	各教科 2 回ずつ	各教科 2 回ずつ
2 学期中間	各教科 1 回ずつ (数のみ 4 回)	国・社 1 回ずつ 数・理・英 2 回ずつ	国・数・英 1 回ずつ
期末	各教科 1 回ずつ (数のみ 4 回)	各教科 2 回ずつ	国 1 回、英 3 回 体 2 回
3 学期期末	各教科 1 回ずつ (数のみ 4 回)	各教科 2 回ずつ	各教科 2 回ずつ

具体的方策② 放課後補習の定期的な実施

資料 1 放課後補習の実施状況（令和 5 年 1 月現在）

	1 回の時間 数	人数
第一学年	1 時間程度	17 名
第二学年	1 時間程度	23 名
第三学年	1 時間程度	17 名
合計		57 名

数学・英語のみ、年間 151 回の実施

参考資料 全国学力調査結果

		令和元年		令和2年	令和3年		令和4年		令和5年	
		平均正答数	平均正答率(%)		平均正答数	平均正答率(%)	平均正答数	平均正答率(%)	平均正答数	平均正答率(%)
国語	篠崎中学校	7.6 / 10	76	中止	9.5 / 14	68	10.1 / 14	72	11.1 / 15	74
	東京都(公立)	7.4 / 10	74		9.4 / 14	67	9.8 / 14	70	10.8 / 15	72
	全国(公立)	7.3 / 10	72.8		9.0 / 14	64.6	9.7 / 14	69.0	10.5 / 15	70.0
数学	篠崎中学校	10.0 / 16	63		8.8 / 16	55	7.7 / 14	55	8.3 / 15	55
	東京都(公立)	9.9 / 16	62		9.6 / 16	60	7.6 / 14	54	8.2 / 15	54
	全国(公立)	9.6 / 16	59.8		9.1 / 16	57.2	7.2 / 14	51.4	7.6 / 15	50.6
理科	篠崎中学校						10.6 / 21	51		
	東京都(公立)						10.6 / 21	51		
	全国(公立)						10.4 / 21	49.3		
英語	篠崎中学校	12.3 / 21	58						8.6 / 17	50
	東京都(公立)	12.5 / 21	59						8.8 / 17	51
	全国(公立)	11.8 / 21	56.0						7.7 / 17	45.2

中期目標 1	学力の向上
基本方針	(2) 学習指導要領に対応した教員の指導力向上

数値目標 国学力調査数学・英語の平均正答率が、都の平均以上

具体的方策① 読書科指導指針に基づいた「読書科」の実施準備

資料 1 図書館を使った調べる学習コンクールへの参加状況

	参加人数	受賞者	主な内容
第一学年	176 人	江戸川区内 金賞 2 名	ふくろうの生態、各地の方言について、天気の仕事、SDGs で何ができるか など
第二学年	0 人	—	
第三学年	0 人	—	

※本年度は、旧読書科の実施から読書科指導指針（平成 30 年 3 月）に基づいた読書科への移行につき、第一学年のみとなった。

具体的方策② 学校図書館の学習・読書・情報センター機能の充実・検討

資料 1 PCルーム及びPC ルーム準備室の整理

学校図書館横にPCルーム及びPC ルーム準備室があるが、全く機能していない。

次年度は、武道場及び更衣室に変更予定。また、次年度に設置される「チャレンジクラス^{*注}」の学習場所として、学校図書館を活用予定。

注) チャレンジクラスとは・・・

不登校生徒（傾向も含む）が安心して学校生活を送ることができるようなゆとりのある生活時程を実現し、実態に応じた学習保障及び心理的な支援を行います。



中期目標2	体力の向上
基本方針	(3) 豊かなスポーツライフの実現に向けた取組の充実

数値目標 東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査で D・E 判定の生徒が、男子が30%女子20%以下

具体的方策③ 保健体育科の授業における補助運動の充実

資料1 各単元等における主な補助運動

陸上・・・ミニハードル
 ハンドボール・・・敏捷性につながるステップ
 水泳・・・肩回りの重点的なストレッチ
 バレーボール・・・敏捷性につながるウォームアップ
 器械運動・・・柔軟・バランスなどを取り入れたサーキット

具体的方策④ 民間企業と連携した「(仮称) フィットネスエリア」の設置の研究

資料1 フィットネスエリアの設置状況

- ・場所の確保と整理ができた状況である。
 - ・今後は、トレーナー等と話し合いながら、必要物品等を予算に応じて導入していく。
- ＜現在の状況＞



資料2 アスレチックトレーナーの設置

本校では、6月からアスレチックトレーナーにかわる人材を発掘・配置

資料3 フィットネスエリアの活用状況

- ・主に昼の休み時間等を中心に 15 名程度が活用
- ・併せて、8 組生徒は日常的に活用

参考資料 体力調査結果

		令和元年度			令和 2年度	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
		学校	都	区		学校	都	区	学校	都	区	学校	都	区
1 年 男	A	0.0	2.3	2.0	中止	2.9	2.6	2.1	1.1	3.3	3.7	4.9	3.3	2.7
	B	14.9	16.7	14.8		18.8	16.1	14.6	17.0	17.2	16.0	8.5	17.3	17.5
	C	41.9	36.0	34.7		31.9	34.7	34.0	35.2	33.9	31.7	36.6	33.8	31.9
	D	25.7	34.1	35.4		30.4	34.6	33.4	34.1	33.6	35.9	39.0	33.2	33.1
	E	17.6	10.9	13.1		15.9	12.1	15.9	12.5	12.0	12.8	11.0	12.5	14.8
1 年 女	A	12.7	27.2	21.4		14.1	22.3	20.8	27.0	21.9	20.9	27.6	21.0	19.1
	B	39.4	36.6	37.4		40.0	34.3	32.7	36.0	33.5	33.7	28.9	32.6	31.6
	C	35.2	26.0	28.0		24.7	29.3	30.5	23.6	29.1	28.0	27.6	29.5	31.9
	D	11.3	9.0	11.6		17.6	12.4	14.2	11.2	13.4	15.4	14.5	14.6	14.6
	E	1.4	1.3	1.6		3.5	1.8	1.8	2.2	2.2	2.0	1.3	2.3	2.7
2 年 男	A	3.7	5.2	4.8		4.1	5.0	4.6	3.1	5.8	5.1	8.9	6.7	6.4
	B	7.3	22.4	20.5		17.3	20.7	20.3	21.9	21.5	19.6	29.1	22.3	20.8
	C	43.9	38.5	36.3		30.6	37.0	34.2	29.2	36.9	37.9	34.2	35.9	35.3
	D	29.3	25.6	27.9		33.7	27.3	29.7	32.3	26.0	25.4	22.8	25.7	27.1
	E	15.9	8.2	10.5		14.3	9.9	11.2	13.5	9.8	12.1	5.1	9.5	10.4
2 年 女	A	20.7	27.2	25.0		10.2	21.5	20.1	14.6	20.0	19.6	32.9	20.3	19.7
	B	28.0	34.1	32.3		39.8	32.5	32.0	31.7	30.9	28.4	28.9	30.1	29.7
	C	26.8	26.9	29.4		26.1	30.0	30.1	31.7	30.5	30.9	28.9	30.4	29.9
	D	18.3	9.9	10.8		15.9	13.3	14.9	17.1	15.2	17.5	7.9	15.4	16.9
	E	6.1	1.9	2.4		8.0	2.7	2.9	4.9	3.4	3.6	1.3	3.9	3.8
3 年 男	A	3.3	11.8	9.6		20.5	11.4	12.3	8.2	11.5	11.5	8.8	12.1	12.4
	B	17.2	27.5	22.4		28.8	25.8	26.9	24.5	25.5	25.5	27.5	25.8	25.1
	C	41.0	35.4	37.6		26.0	34.6	32.4	33.7	34.7	33.0	36.3	34.0	33.5
	D	25.4	19.0	22.5		19.2	20.8	20.3	22.4	20.6	21.7	20.0	20.1	20.0
	E	13.1	6.4	7.9		5.5	7.5	8.0	11.2	7.8	8.3	7.5	8.0	8.9
3 年 女	A	10.8	25.8	19.3		6.3	21.9	21.4	17.8	20.6	21.3	17.4	19.8	19.9
	B	20.7	29.6	26.9		34.9	29.0	29.7	30.0	27.3	28.2	30.4	25.7	23.7
	C	28.8	28.4	32.8		34.9	30.2	28.4	25.6	30.4	28.8	30.4	30.3	30.9
	D	28.8	12.8	16.6		17.5	15.1	15.9	14.4	16.8	16.7	20.3	18.5	19.6
	E	10.8	3.3	4.5		6.3	3.8	4.6	12.2	4.9	5.0	1.4	5.7	5.9
全 学 年	A	8.5	16.6	13.7		9.7	14.1	13.6	12.0	13.8	13.7	16.7	13.9	13.4
	B	21.3	27.8	25.7		29.9	26.4	26.0	26.8	26.0	25.2	25.6	25.6	24.8
	C	36.3	31.9	33.1		29.0	32.6	31.6	29.8	32.6	31.7	32.3	32.3	32.2
	D	23.1	18.4	20.8		22.4	20.6	21.4	21.9	20.9	22.1	18.3	18.8	19.4
	E	10.8	5.3	6.7		8.9	6.3	7.4	9.4	6.7	7.3	4.6	7	7.8



中期目標3	子どもたちの健全育成等の強化
基本方針	(4) 自己と他者を大切に、多様性を認め合える人権尊重意識の涵養

- 数値目標
- ・いじめに関わる授業について、全学級年間3回以上
 - ・重大事態事案「0」

具体的方策① ローテーション授業を取り入れた「考え、議論する道徳」の充実

資料1 ローテーション授業の実施状況

- ・全学年でのローテーション授業の実施
- ・副校長による第三学年での道徳授業の実施

具体的方策② 対話的な学びを重視した「人権課題（子供 - いじめ - ）に関わる道徳の実施

資料1 いじめに関わる道徳授業の実施

- ・教科書に基づき、年間3回から5回を目途に「いじめ」に関わる授業を実施している。

具体的方策③ 職員の人権教育に係る研修の充実（フィールドワーク等）

資料1 取組の状況

1 管理職による人権尊重教育に関わる研修会の実施

- (1) 実施日 8月25日（金）
- (2) 参加者 全職員
- (3) 講師 副校長
- (4) 内容 教職員の人権感覚

2 人権尊重教育に係るフィールドワークの実施①

- (1) 実施日 10月3日（火）
- (2) 参加者 教職員13名
- (3) 講師 東京都人権啓発センター
- (4) 内容 「人権課題：同和教育」

山谷掘り地区から回向院までのフィールドワーク

講義1時間 フィールドワーク2時間

3 人権尊重教育に係るフィールドワークの実施②

- (1) 実施日 11月16日（木）
- (2) 参加者 教職員10名
- (3) 講師 児童相談所一時保護課長 茂木 健司 氏
- (4) 内容 「人権課題：子供」

一時保護所での支援の実践

講義30分 施設見学1時間

江戸川区立堀場中学校

「解体新書」150周年記念「道徳活動」フィールドワーク

解体新書の秘密に迫る！

～解体新書の立役者はだれか～

専門家にともに、社会の発展に大きな功を立役った人々の功績を学ぶ機会としてフィールドワークを行います。奮って参加をお願いします！！

日時	令和5年10月3日（火） 中層教室1日目 午後1時30分から午後4時45分まで
集合	今戸社会教育館 台東区今戸2-26-12（今戸住宅2階）
解散	南千住駅周辺
場所	今戸社会教育館から回向院まで
講師	東京都人権啓発センター学芸員

※参加費：無料（食費20分）
※お弁当：お持ち込み可（お弁当の準備は各自で行ってください）
※バス：バスに乗る場合は、バス代200円（バス代は各自で行ってください）
※お土産：各自でお土産を買ってください

杉田玄白によって「ターヘル・アナトミア」が編纂され、解体新書が出版される。解体新書は、日本の医学や生物学の発展につながった。一方で、出版にあたっては、差別された人々のもつ技術が新しい学問を発展させる支えになっていたことは、あまり知られていない。このフィールドワークでは、その秘密に迫ります。



参考資料

○道徳地区公開講座

9月13日（水）	午後1時35分～	公開授業	保護者参加者	3名
	午後2時50分～	協議会	保護者参加者	0名

○いじめの認知件数 令和4年度 29件

○重大事案件数 令和4年度 0件

中期目標3	子どもたちの健全育成等の強化
基本方針	(5) 生徒理解に基づいた支援の充実

数値目標 hyper-QU^{※2} 2 回目において、学級生活不満足度群要支援群が全体の5%以下

具体的方策① 子どもたちの権利条例に基づいた「きまり」等の継続的な見直し

資料1 主な本校の取り組み

- ・出席の取り扱い
- ・誰でもトイレの設置
- ・教室のUD化
- ・標準服の在り方検討委員会の設置の検討

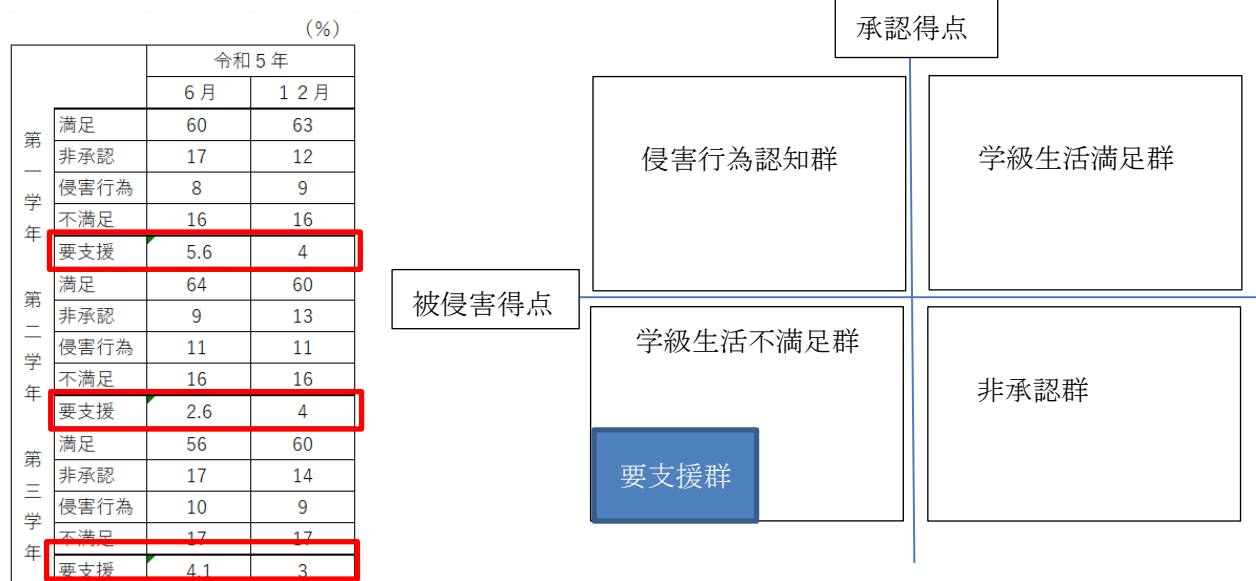
具体的方策② 教師と生徒の交換連絡ノートによる個々の生徒の理解

資料1 取組状況

- ・全学年・全学級において、交換連絡ノートを活用、コメントを記入

参考資料

OQUテスト（学級満足度調査）による要支援群の状況



中期目標3	子どもたちの健全育成等の強化
基本方針	(6) 不登校支援の充実

数値目標 不登校もしくは長期欠席者のうち、外部専門機関につながない生徒0

具体的方策① 気になる生徒の支援に向けた SC・SSW による関係機関へのつなぎ

資料1 SC・SSW による外部機関へのつなぎ

令和5年度のSC・SSWによる関係機関へのつなぎ（令和6年1月現在）

	令和4年度		令和5年度	
	ケース人数	外部機関へのつないだケース数	ケース人数	外部機関へのつないだケース数
SC1	33	9	18	6
SC2	18	5	10	4
SSW	—	—	11	0

資料2 専門家チーム派遣の活用

令和5年度・・・2件

具体的方策② エンカレッジルームを活用した不登校支援の充実

資料1 ほっとルームの設置状況

令和5年9月から「ほっとルーム」を設置

開室時間 午前8時30分～午後2時30分まで（1月から午後も開室）

支援員 5名（元校長等）

3名（講師・学生）

資料2 ほっとルームの活用状況

	令和5年度（1月現在）
	利用人数
第一学年	6人
第二学年	4人
第三学年	2人
合計	12人



※ただし、12人は常時利用者ではなく、見学後、来ていない生徒も含む

資料3 でんの設置状況

令和5年9月から第一学年から第三学年の全ての学年に「でん」を設置

8組については、従来から設置済み。

参考資料

○不登校生徒数及び出席率

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
1学年	4	12	17	16	
2学年	13	3	22	21	
3学年	15	12	11	19	
合計	32	27	50	56	
全生徒数	623	589	619	659	
出席率	5.14%	4.58%	8.08%	8.50%	
都出席率	4.76%	4.93%	5.76%	6.85%	
国出席率	3.94%	4.09%	5.00%	—	

具体的方策③ オンラインによる授業参加の受け入れ体制の構築

資料1 オンライン等による授業への参加状況

※令和6年1月現在

	令和4年度	令和5年度
学校サポート教室	5	6
フリースクール等	0	4
オンライン授業	10	280
合計	15	290



中期目標 4	共生社会の実現に向けた教育の推進
基本方針	(7) 共生社会に向けた特別支援教育の推進

数値目標 全教員で学びのユニバーサルデザインを活用した授業等の工夫事例集を作成・共有

具体的方策① 交流及び共同学習の充実（給食、行事、部活動、実技教科等）

資料1 交流及び共同学習の実施状況（予定）

<令和5年度>

- 各教科等における交流及び共同学習実施予定

教科	学年	単元（通常学級）	実施期間（回数）
技術	第一・二学年	木工（第一学年）	9～12月（12回）
	第三学年		
家庭	第一・二学年	献立作り（第二学年）	11月（2回）
	第三学年	介護体験（第三学年）	2月（2回）
音楽	第一・二学年	合唱（3送会に向けて）	12～1月（8回）
	第三学年	合唱（卒業式に向けて）	
美術	第一・二学年	鑑賞（第一学年）	12月（1回）
	第三学年	鑑賞（第三学年）	12月（1回）
保健体育	第一・二学年	ソーラン節（第三学年）	5月（4回）
	第三学年		

- 特別活動・部活動

	特別活動	部活動
第一学年	校外遠足2回・生徒会	野球部、スポーツ部
第二学年	宿泊行事・生徒会	美術部、スポーツ部
第三学年	修学旅行・生徒会	スポーツ部

<令和6年度>※あくまでも予定

- 各教科等における交流及び共同学習実施予定

教科	学年	単元（通常学級）	実施期間（回数）
技術	第一学年	木工（第一学年）	9～12月（12回）
	第二学年	エネルギー交換（第二学年）	9～12月（12回）
	第三学年	プログラミング（第三学年）	7～12月（10回）
家庭	第一学年	染み抜き（第一学年）	11月（1回）
	第二学年	献立作り（第二学年）	11月（2回）
	第三学年	介護体験（第三学年）	11月（2回）
音楽	第一学年	合唱（三送会に向けて）	12～1月（8回）
	第二学年	合唱（三送会に向けて）	
	第三学年	合唱（卒業式に向けて）	

美術	第一学年	鑑賞（第一学年）	12月（1回）
	第二学年	写真（第二学年）	5月（2回）
	第三学年	鑑賞（第三学年）	12月（1回）
保健体育	第一学年	ソーラン節（第三学年）	5月（4回）
	第二学年		
	第三学年		

・特別活動・部活動

	特別活動	部活動
第一学年	校外遠足 2 回・生徒会	スポーツ部、未定
第二学年	宿泊行事・生徒会	野球部、スポーツ部
第三学年	修学旅行・生徒会	美術部、スポーツ部

資料2 江戸川区教育課題実践推進校

テーマ：「共生社会の第一歩」

サブテーマ：交流及び共同学習と交流及び共同学習を支える

学びのユニバーサルデザインを取り入れた授業実践

- ・分科会1 教員研修の充実
- ・分科会2 教室のUD化
『学びのユニバーサルデザイン』実践事例集
- ・分科会3 交流及び共同学習の実施

令和6年度江戸川区教育課題実践推進校(最終案内)
教育課題「特別支援教育」

研究主題
ともに学ぶ「共生社会の第一歩」
～交流及び共同学習と交流及び共同学習を支える
ユニバーサルデザイン・ユニバーサルデザイン(UDL)を取り入れた授業実践～

◇ 日 時 令和6年2月1日(木) 午後1時30分受付開始
午後2時から4時25分まで

◇ 場 所 風帆会館

◇ 実 践 報 告 第一分科会①(校内の環境整備)、「学びのユニバーサルデザイン」
第二分科会(支援者の障害理解)、第三分科会(個別の配慮)

◇ 説 辞 江戸川区教育委員会 教育長 豊田 千秋

◇ パネルディスカッション
コーディネーター 校長 紅林 孝一
パネラー バネラー 中西 郁氏、各分科会担当教員
◇ 指導・講師 十文字学園女子大学 教育人文学部 児童教育学科
教授 兼 同大学 特別支援教育研究所 所長 中西 郁氏

参加はコチラから📍

江戸川区立篠崎中学校
〒112-0061 東京都江戸川区篠崎町5-12-19
電 話 03-3679-3001
ファクス 03-3679-3216
ホームページ http://shinozaki.edgogaku.ed.jp

都立新習館 篠崎駅から徒歩10分

具体的方策② 交流及び共同学習を支える「学びのユニバーサルデザイン」を取り入れた教室環境と授業の工夫・改善

資料1 教室環境の整備

- ・教室正面の整備
- ・正面棚の目隠し
- ・机・椅子の脚カバー
- ・机の定位置の確認
- ・両サイドの机の角度
- ・背面黒板の整理
- ・ロッカーの整理
- ・かばん置場の設置
- ・各フロアーの「でん」の設置

資料2 学びのユニバーサルデザインの実践事例

※ユニバーサルデザインラーニングとは・・・

米国の CAST が提唱している、学ぶための選択肢を多様にすることによって、教室における学びを誰にとっても達成可能となるように調整可能となるように調整するための理論的枠組み。

- ・ 提示（理解）のための多様な方法の提供
- ・ 行動と表出に関する多様な方法の提供
- ・ 取組のための多様な方法の提供

＜参考例＞

ガイドライン4「身体動作のためのオプションを紹介する」

工具選びについて、最適なものを選択できるようにする

1 支援・配慮
麻呂様式や学習を進める方法を変える

2 説明
一つの作業でも、複数の方法で作業ができることを紹介し、自分自身に最適なものを選択してもらう。
写真には穴をあける作業における方法を3種類から選べるようにする。これでも難しい場合は、機械を使用するなどの配慮を行う。

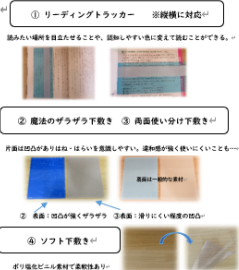


ガイドライン4「身体動作のためのオプションを提示する」

注目する場所を明確にして、脳と体を連動させる！

1 教具のアクセスを最適にする

2 説明
読み書きが苦手な生徒が、授業内容の理解にしやすい学習環境を整える1つの手段として使うことができます。中学生という発達過程の中で、周りや書く行動をとることに違和感を覚える生徒が多い中、目立たず使える以下の補助具を紹介します。
① リーディングトラッカー
→注目すべき箇所を強調させる。
② 魔法のザラザラ下書き：凹凸強い
③ 両面書き分け下書き：凹凸弱い
④ ソフト下書き
→凹凸や柔らかさがある下書きを使うことで、ペンの振動が伝わり、頭でのイメージと手の動きを一致させる。



ガイドライン8「努力や頑張りを継続させるためのオプション」

マイナスのことも前向きな考え方や言葉かけに変換しよう

1 協働と仲間意識を育む

2 説明
「どうせ...」「やっても意味がない」とすぐあきらめてしまう生徒、「なんでできないの!」「こんなこともわからないの!」という声が飛び交うクラスなど、そんな雰囲気を作らないために、日々学校全体で前向きな考えや言葉に変換する習慣をつけよう。
「声かけ変換表」などの本や資料がありましたが、それを参考に学校全体や教員、クラスで話し合い、自分たちで特に意識した面白い「声かけ変換表」を作成し、クラス全体で、努力や頑張りを継続させるようにします。

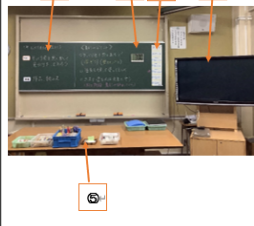


ガイドライン3「理解のためのオプションを提供する」

わかりやすいヒントやキューイング(合図)を提供した板書づくり

1 パターン、重要事項、全体像、関係を目立たせる。

2 説明
① 板書左側には本時のめあてと準備で必要なものを書き、板書右側には要点を書く。
② 制作と片付けのタイミングでタイマーをかけ、残り時間を視覚的に確認できるようにする。
③ 制作のスケジュールを提示し、進捗の確認をする。
④ 必要に応じて説明の際にモニターを使用する。
⑤ 授業で必要な道具などは教卓に準備しておく。



資料3 特別支援教室（しのだけルーム）の活用状況

	合計	在籍	入学時	途中入室	途中退室	卒業
R2	5	2				
R3	11	5	5	1	0	4
R4	11	7	4		2（年度末）	1
R5	14	8	8	2	4	(3)

※令和5年度については、10月現在

- 12 -

中期目標5	地域に開かれた学校の実現
基本方針	(8) 地域コミュニティの拠点としての取組の充実

数値目標 年間1回以上、生徒の半数以上が地域等のボランティアに参加

具体的方策① 地域と連携した多様な部活動の研究

資料1 外部指導員（区費）※正規正教員の顧問を必要とする

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
種目	陸上	陸上	陸上	陸上	陸上、美術、スポーツ・柔道 野球
人数	2名	2名	2名	2名	6名

資料2 部活動指導員（都費）※正規教員の顧問を必要としない。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
種目	なし	なし	なし	なし	陸上
人数	0	0	0	0	1

具体的方策② 一人1ボランティア運動の推奨

資料1 ボランティアへの参加状況

＜令和5年度ボランティア参加状況＞

	第一学年	第二学年	第三学年	全体
地域の祭り（含む篠中フェスタ）	26	16	62	104
夏のボランティア	14	10	31	55
部活動	2	5	4	11
その他	4	7	15	26
参加者延べ人数合計	46	38	112	196
実施人数合計	36	35	83	154
実施人数割合	17%	16%	38%	24%
在籍人数	206	222	216	644



中期目標5	地域に開かれた学校の実現
基本方針	(9) 学校情報の積極的な配信

具体的方策① ICT の多様な活用の研究

資料1 本年度行った、ICT の活事例

- ・オンライン授業（不登校生徒向け、コロナ・インフルエンザ時）
- ・オンライン保護者会
- ・オンラインによる提出物の提出

中期目標5	地域に開かれた学校の実現
基本方針	(10) 学校関係者評価の活用・充実

具体的方策① 学校関係者への助言者の活用

資料1 学校関係者の構成（9名）

- ・有識者
十文字学園女子大学教育人文学部児童教育学科
教授 林 宜之 氏
- ・旧 PTA 会長 3 名
- ・前 PTA 会長 1 名
- ・現 PTA 会長 1 名
- ・地域 保護司 1 名
- ・元校長 2 名



資料2 令和5年度の主な協議の論点

- ・R5学校経営計画の進捗及びR6学校経営計画
- ・コミュニティスクールの設立に向けて（構成メンバー、学校地域支援本部）
- ・標準服について
- ・地域部活動について
- ・チャレンジクラス（学びの多様化学級）の設置に向けて
- ・その他

中期目標6	その他
基本方針	(11) 教員の働き方改革

具体的方策① ICT 化の推進を図った業務の効率化

資料1 主なICT 活用実践

- ・tetoru の活用（学校からの連絡配信、保護者からの欠席連絡をオンラインで一元管理）
- ・職員会議でのペーパーレス（職員会議での資料を全て電子）
- ・学校評価アンケート（全てQRコード等で自動集計）

具体的方策② 学校経営支援部の活性化

資料1 学校経営支援部の設定及び定期的な会議等の設定

会議時間 毎週月曜日午前9時30分～10時20分

- 主な内容
- ・年間計画・週時程等に関わる確認
 - ・PTA・地域との連携
 - ・所属職員・学校施設等に関わる情報交換

参考資料

○教員の超過勤務時間の状況

9、10、11、12月までの延べ人数

	45 時間以下	60 時間以下	80 時間以下	100 時間以上
第一学年	30	6	4	0
第二学年	29	8	9	2
第三学年	27	8	7	0
合計	86	22	20	2

○江戸川区立篠崎中学校における「働き方推進計画」策定

・管理職による取組

管理職の確固たる決意、働き方改革推進計画の策定、学校経営支援部の活用、学年会計事務の見直し、校務分掌の平準化、在校時間縮減に向けた取組強化、担当業務の引き継ぎ書の作成、部活動活動指針の策定

・校内校務改善委員会による取組

会議の効率化（回数、ペーパーレス、朝打ち合わせ時間の効率化、学年・分掌部会の回数減）
行事の精選、担任業務の平準化・簡素化、集金システムの活用、定期考査の効率化、清掃場所の精選、日直業務の精選、夏季休業中のプール分担、保護者等の効率化

・教職員一人一人の意識改革に向けた取組

机上等の整理整頓、SSS の有効活用、C4thの連絡掲示板の活用

中期目標6	その他
基本方針	(12) 効率的な学校事務の運用

具体的方策① 学校が管理すべき財産の整理・整頓

資料1 本年度整理したもの学校財産

- ・木工準備室の整理 ⇒ 更衣室へ
- ・PC室及びPC準備室の整理 ⇒ 物品は廃棄済み、使用用途は現在検討中
- ・8組校舎一階の整理 ⇒ フィットネスルームへ
- ・来賓トイレ ⇒ 洗浄機の設置
- ・誰でもトイレの設置
- ・ほっとルームの設置
- ・女子更衣室の設置

中期目標6	その他
-------	-----

基本方針	(13) 食育の推進
------	------------

具体的方策① SDGs 給食の充実

資料1 本校 SDGs 給食

- ・年2回程度 SDGs 目標の行動に沿った献立の給食を提供
- ・給食だよりや給食委員会が昼の放送等で全校に知らせている。

<献立例>

○SDGs 目標2 飢餓を0に・・・

江戸川10の行動1 食材を無駄なく使って食べよう

【埼玉郷土料理】

かて飯、ゼリーフライ、野菜のごま和え、みそ汁

※ 芋がらを使用した混ぜご飯、おかからを利用したゼリーフライ

○その他

- ・パンの耳を揚げてクルトンとして利用
- ・ボラ（東京湾で水揚げ）などの魚の利用
- ・さつまいもの皮を剥かずに使用
- ・人参の皮をドレッシングに使用
- ・世界の料理、郷土料理などで、国や郷土の文化に触れる



資料2 家庭科等との教科と連携した食育の実施

- ・第二学年生徒が献立のテーマを決めて、栄養基準に沿った献立を作成
- ・各クラスで1～2点工夫の凝らされた献立を給食で提供予定

中期目標6	その他
-------	-----

基本方針	(14) 学校データの管理
------	---------------

具体的方策① 学校の様々なデータ集積

資料1 過去に遡って収集したデータ

- ・職員数
- ・生徒数
- ・全国学力調査結果
- ・放課後補習の参加状況
- ・体力調査結果
- ・不登校の状況
- ・外部教育機関・オンライン授業等の活用状況
- ・部活動指導員数
- ・生徒のボランティア参加状況
- ・教職員の時間外労働の状況



資料

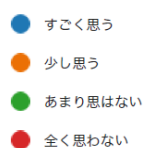
（生徒アンケート、保護者アンケート、教職員アンケート）集計結果

学校評価（生徒・保護者・教員アンケート）集計結果

生徒

保護者

教職員



I アンケート結果集計

学力向上

1 基礎・基本の確実な取得について

○定期考査時の学習サブリ講座
（放課後質問教室）は役に立っているか？



○放課後補習教室は役に立っているか？



2 探究的な学習（課題解決型の学習）について

○読書科の探究的な学習（課題解決型の学習）
は役に立っているか？



体力向上

1 個に応じた体力向上について

○保健体育の時間の補習運動は体力向上に役に
立っていますか？



○フィットネスエリアを今後活用したいですか？



健全育成

1 生命尊重について

○考え、議論する道徳の授業が行われていますか？



○いじめを題材とした道徳の授業が行われていますか？



○先生方は生命尊重を意識していると思いますか？



2 学級満足度について

○校則の見直しは適宜行われていますか？



○先生との関係性の中で「わすれないぞう」(連絡帳)は有意義に活用できていますか？



3 教育相談・不登校対策について

○スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを活用したいと思いますか？



○ほっとルーム(不登校生徒のための別室)は知っていますか？



○オンライン授業は良い取り組みであると思いますか？



共生社会の実現

1 交流及び共同学習について

○通常学級と8組との交流は有意義な取り組みですか？



2 ユニバーサルデザインを取り入れた教室環境の工夫について

○現在、学習により集中しやすい教室づくりを行っています、役に立っていますか？



地域社会に開かれた学校

1 地域とともにある学校について

○部活動の種類は十分だと思いますか？



○年間、1回以上のボランティアを推奨していますが、良い取り組みだと思いますか。



2 学校の情報発信について

○学校便りやHPなどで学校情報は十分に発信されていると思いますか？



○学校を評価している学校評議員制度
は知っていますか？



特色ある教育の展開

1 先生方の業務効率について

○タブレット等は十分に活用できていますか？



○先生方はよく相談等によってくれていますか？



2 特別教室等について

○フィットネスエリア、PC 教室、
女子更衣室など新しいスペースは役に立っていますか？



3 給食指導について

○SDGs 給食は良い取り組みだと思いますか？



○生徒が考えた給食の提供をしてみたいですか？



II アンケート自由意見回答 ※回答可能な意見のみ掲載しております。なお、個人が特定されないよう、文言を変更してあります。

1 生徒

○女子の制服の着方について、カーディガンを制服の中に着るのは難しいと感じるのですが…？

⇒現在は制服の上に着用してもよいことになっています。

○生徒会のペットボトルキャップの活動は継続していただければと思います。

⇒継続していきます。

○フィットネスエリアやホットルーム、女子更衣室など、知らないことが多すぎました。（多数の意見あり）

⇒生徒の皆さんにもう少し丁寧に紹介していきます。ただし、女子更衣室は、一度作ったのですが、現在、再検討になっています。

○女子が髪下ろすことについて、ご検討いただきたいのですが…。

⇒髪を下すことのメリット・デメリットを検討し、髪を結わかないことで起こる不都合（衛生面や危険）を考慮し、現状のままとします。

○再登校について、ご検討いただけないでしょうか？

⇒次年度からは、学校待機を認める方向で検討しています。現在、試験運用を実施中です。

○生徒にとって難しい質問もありました。（多数の意見あり）

⇒来年度に向けて再度、質問内容については、検討していきます。

2 保護者

○配布物を配布する際にもっとテトルを活用していいのではないのでしょうか？

⇒来年度は、校内組織を見直し、ICT等の活用について、今まで以上に力を入れてまいります。その中で、この度の御意見を検討していきたいと考えております。

○学校 HP の学校日記の更新について、回数を増やしていただけないでしょうか？

⇒至急、改善を図ってまいります。

○情報が不足しており、回答に戸惑う質問が多数あり、回答について非常に困りました。（多数の意見あり）

⇒周知不足については、御迷惑をおかけしております。お子様に向けての周知と併せて、今後、もう少し、周知を強化していきます。

- 学校の指定かばんについて、非常に丈夫なのはいいのですが、機能性や重たさが通学の負担となっていると感じています。(多数意見あり)
⇒大いに検討すべきと考えます。制服改定検討委員会に議題として載せていきます。
- 定期考査の直前に学校公開を実施するのは色々と課題を感じました。
⇒年間行事予定を組む際に、バランスを考えて決めていきます。
- 再登校については、御検討いただけないでしょうか？
⇒次年度からは、学校待機を認める方向で検討しています。現在、試験運用を実施中です。
- 柔道着については、リサイクル等の活用は難しいのでしょうか？
⇒柔道着については、PTA にリサイクルを相談してみます。
- 体操着への氏名の刺繍は、その利便性については理解できるのですが、今の時代になじまないような気がします。
⇒制服改定検討委員会に議題として載せていきます。特に、現体育着が、メーカーで廃版となるとの連絡があり、令和 7 年度より、体操着が改定しなくてはならないため、その時点での運用を検討します。
- 授業中の配布物についてもペーパーレス化の観点からタブレットをもっと活用してもいいのではないのでしょうか？
⇒各教科でのタブレット活用について、各教員に促していきます。
- 運動会の時に、保護者に対して、小学校同様、色リボンの着用をお願いすると観覧の入れ替えがよりスムーズになるのではないのでしょうか？
⇒色リボンを付けることにより、リボンを付ける、付けない等による入場トラブルや席順による今まで以上のトラブルが発生する可能性が想定されることを踏まえ、慎重に検討させていただければと思います。
- サブリ講座については、教科によって友達と集まる時間になっていると聞いているのですが・・・。
⇒実施の細かい方法について、各学年で確認し、それに基づいて実施していきます。
- わすれないうちについては、先生によりかなり差があると聞いているのですが・・・。
⇒実施の細かい方法については、各学年で確認しておりますが、今後、実施を含め検討していきます。
- 放課後補習や学習サブリが、曜日が固定なので、習い事で参加が出来ないのが残念です。可能であれば、ありがたいのですが。
⇒放課後補習は区の規定によって運用しております。サブリ講座は、今後、実施を含め検討していきます。